R070228_へらへら通信_岩田健三郎氏ーヘラヘラ日記_気まぐれ日記　より

気まぐれ日記

2025.02

1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28

この月の日記は日付をクリックしてください。

ほかの月の日記は下より選択してください。

選択してください

きのへはこんな1日でした　2月26日(水)

やはり現地に足を運ばないと

3時起き　日付けのある版画を彫って、へらへらうこんをつづって朝ごはん。

朝　スムージー／ゆで厚揚げに油／みそ汁（なすとせり）ごはん納豆・せり・のり・昆布（神戸）／柿

野里駅8時41分　姫路駅乗り替え姫新線9時9分本竜野駅着9時29分。光都土地改良センターの合田弘さんと落ち合って…

波賀町へ　国道29号を北上。わっ！雪が残っている。気温は9度。

飯見の棚田を　『飯見夢むら棚田の会』会長岡田初男さんが待っていてくださった。さっそく棚田へ。降った雪が積っています。白です。「春にまた来てほしい…」と岡田さん。そして田植えの田に水が張られた時にも。夏の苗が育ってそよぐ時にも。そうして秋の稲刈りの時にもスケッチをしたいと思いました。虫送りの行事もある。

お昼で奥さんの康子さんにお茶をごちそうになりました。「嫁に来た時は圃場整備前で田の数が全体で1700。うちの田が58ありました。えらいところに嫁に来てしまったと思いました」。

圃場整備されていまは171枚の田に。1枚の田も休耕田がない」と初男さん。すばらしい！空きが出ると「やりたい」という若いひがいるようです。

昼　山崎町の『浪』羅門さんで。400のおかずのゆから200円選んでごはん・みそ汁・つけもの付800円

土木工学が専門の合田さんは子どもたちが池をつくる当時の古い写真から、池の縁堤の土をかためる道具「やモッコ」石を紙でつくってすべりで演じたことに感激されていました。

確かに。4年生の5人の子らは田の水を得るために先人たちが大変な苦労をしたのだということを、ほんの少し知ったのだと思います。

播西・菖蒲谷『ため池管理者の森崎さんと『龍野普及センター』の車池へ

ここは以前、講師草弘さんに連れてきてもらった。

さて、大成池から車池へ。細い山道とウネウネ。途中路肩の初田源一郎さんの案内で。「景色がいい」とます大成池へ。三木露風さんの詩碑がある。

水　露風

山上のおちくぼに
たゝへるふるきゝ水
あおぐもをうかべ
いつよりかくだらん
いつまでも乾めべきや
山上のあゝ水よ

がくずれかけた個所もあり。車池へは「立入禁止」のロープがはられ森崎さんがかぎをはずしてくださって行けたのでした。

成田新田へ　播磨の山は…深い…と思いました。その山の中から一気に瀬戸内海の海べへ。たつの市御津町の中村と富嶋川の間の成山新田。広々とした大根畑。そのビニールのおおいの数が波のようだと写真スポットになっているそうです。日が沈んで1日が終りました。取材の長い1日でした。揖保川をいを源流から海までの旅でした。